

11月の学会出展、セミナー情報

今月の学会・セミナー開催情報をご案内いたします。

- ・2017年11月16日(木)・17日(金) 第35回日本頭蓋顎顔面外科学会学術集会(電気ビル共創館)
- ・2017年11月18日(土)・19日(日) 第81回日本皮膚科学会東京支部学術大会(京王プラザホテル)

<ランチョンセミナー10>

日時:2017年11月19日(日)12:10-13:10

会場:第5会場4F花A京王プラザホテル

テーマ:紫外線治療器で拡がる可能性~ターゲット型エキシマライト~

座長:大久保 ゆかり 先生(東京医科大学皮膚科学分野 教授)

青山 裕美 先生(川崎医科大学医学部臨床医学 皮膚科学 教授)

演者:牧野 輝彦 先生(富山大学大学院医学薬学研究部皮膚科学講座 准教授)

「ターゲット型エキシマランプVTRACが拡げる皮膚疾患の治療」

東山 眞里 先生(公益財団法人日本生命済生会付属日生病院 副院長兼皮膚科部長)

「皮膚疾患とくに乾癬治療におけるエキシマライトの活用」



JMEC公式サイトで
最新情報をチェック

少人数制
実践的セミナー

PRIVATE WORKSHOP
プロフェッショナルに学ぶ!

残席わずかです!

Qスイッチレーザーによるシミ治療

日時:2017年11月23日 15:00~16:00 予定

講師:山下 理絵 先生

(湘南鎌倉総合病院 形成外科・美容外科 部長)

加王 文祥 先生

(天神下皮フ科形成外科 院長)

※満席によりお申込を締め切らせていただきました

患者満足度を上げるたるみ治療

日時:2017年12月10日 13:00~16:00 予定

講師:宮田 成章 先生

(みやた形成外科・皮ふ科クリニック 院長)

慶田 朋子 先生

(銀座ケイスキンクリニック 院長)

場所:天神下皮フ科形成外科(東京)



口座振替のご案内

現在、多くのクリニック様では、化粧品代金のお支払いを銀行振込にてお願いしておりますが、口座振替もご選択いただくことができます。口座振替の場合、お振込みの手間が省けることと振込手数料が無料になるといったメリットがあります。

口座振替をご希望の場合は、弊社営業または下記までお問い合わせください。

株式会社ジェイメック コンシューマー事業課

TEL:03-5688-1975 e-mail:consumer-all@jmec.co.jp

<ご注意ください>

※化粧品のご注文分だけでなく、弊社からご請求するすべての金額が口座引き落としとなります。

(銀行振込と口座振替分でご請求をわけることはできません)

※口座振替の手続き完了までに約1ヶ月ほどお時間をいただきます。その間のお支払いは、銀行振込をお願いいたします。



今月の Pick Up

「治療後の PIH 予防」に濃度が選べる ハイドロキノンクリーム

レーザーや光治療前後のメラノサイト活性を抑え、**色素沈着 (PIH^{※1})**
や再発予防を目的とし開発された《ナノ HQ クリームシリーズ》

シリーズ累計約79万本^{※2}、1,000 施設以上の医療機関で取扱、発売から10年以上たった今も伸び続けているロングセラー商品です。

レーザーメーカーである私たちは、主に **Qスイッチレーザー治療後の約40～50%の人に発症**するとも言われる **PIH 対策**として、
当時から**強力な美白作用を持つ成分**に着目していました。

2001年の規制緩和により**米国で実績の高いハイドロキノン (HQ)**
が化粧品に配合可能となりましたが、**安定性が非常に低く、赤み等が出やすい**という難点がありました。

その**デメリットを解消**すべく、約8年前より**強力な抗酸化力を持つ成分「フラーレン」を配合**。HQの劣化を防止し、p-ベンズキノン (HQ 酸化物)の発生を抑制するこ

最強の抗酸化成分フラーレンとは？

フラーレンは、非常に安定性の良い抗酸化成分です。代表的な活性酸素に満遍なく効果を発揮し、紫外線照射下でも抗酸化力を発揮します。

その抗酸化力により、美白や抗シワ、ニキビ、バリア機能改善など様々な効果が立証されています。一般的な有効成分は優れた効果がある反面、安定性が低い成分も数多くありますが、フラーレンによって有効成分の分解を抑制する効果も期待できます。

実際に、フラーレンとハイドロキノン (HQ) と組み合わせることにより、HQの分解が抑制されることから、HQの効果を最大限に引き出せる可能性が期待できます。また、ビタミンCと組み合わせることにより、コラーゲン産生を促進することも明らかになっています。

活性酸素はレーザー照射後にも発生 (図1) しますが、フラーレンによりレーザー照射後の活性酸素の発生を抑制し、早期に赤みを抑える効果 (図2) が認められています。

そのため、シミ取りレーザー後の再黒化の抑制も期待できます。